

補助事業番号： 21-30

補助事業名： 平成21年度IT社会における安全・安心確保に関する補助事業

補助事業者名： 財団法人コンピュータ教育開発センター

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

ア. 親子のためのネット社会の歩き方セミナー

(http://www.cec.or.jp/jka/h21oyako_index.html)

子どもたちがIT社会に正しく対応できるように、子どもとその親を対象に、IT社会に対応するための情報モラル・セキュリティに関するセミナーを実施し、家庭でのコミュニケーションの題材となるような情報を提供するとともに、学校の先生が親子を指導するための一助となる情報を提供するものであり、文部科学省および教育委員会と協調して普及・展開を図り、IT社会の健全な発展および機械工業の振興に寄与する。

(2) 実施内容

①「親子のためのネット社会の歩き方セミナー」教材改訂版の開発

「親子のためのネット社会の歩き方セミナー」テキスト改訂版作成にあたっての主な検討結果は次のとおり。

ア. 保護者向けテキストの改訂のポイントは、家庭でのフィルタリングの設定の仕方、事故時の対応手順や相談先・通報先などの連絡先を、できるだけ具体的に記述した。また、本年度は、最新のデータに更新するとともに、さらに充実した内容をめざして掲載情報を全面刷新。全体的に「明るいネット社会」を打ち出し、「望ましいネット社会を作っていく」というスタンスでまとめた。

全体構成の改訂ポイントは以下のとおり。内容の重複を避け、情報を整理した。

- ・「トラブルに巻き込まれないための緊急対策」と「トラブルに巻き込まれた後の対処法」を明確に区別して記載
- ・「ネット社会は、こんな社会」の項目を新設
- ・最終ページ「ネット社会を生き抜く子どもを育てる」に、

「情報モラル指導のポイント」と「子育てのポイント」をまとめて記載した。



児童生徒用



保護者用

イ. 児童生徒用テキストの改訂

本年度は取り上げるべき事例を見直し、急速に変化するネット社会の現状にあった内容に改訂。「少ない事例から考えを発展させ、多くの事例に応用できる知識・思考力・判断力を養う」という基本方針を踏襲しながら、外部からのご意見やセミナーのアンケート結果も盛り込んだ。

たとえば、

- ・「プロフや SNS、コミュニティサイト」の事例
- ・「フィッシング詐欺」の事例
- ・「フィッシング 110 番（警察庁）」の情報（URL）
- ・USB メモリからのウイルス感染事例など、詳細情報を追加した。

②Web 対応用リーフレットの開発

このリーフレットは、携帯電話の正しい使い方や情報活用能力を高めたり、楽しい情報社会を過ごすための参考となる危険度、安全度をクイズ形式で学べるようにした。

また、リーフレットをパソコンに保存して利用する場合リーフレットのページ番号をクリックすると①で開発した「親子のためのネット社会の歩き方セミナー」教材の参考サイトにリンクして教材のページが開くように工夫している。

リーフレットはPCで使用するためのカラー版と印刷して使用するための白黒版の2種類を作成。



③「親子のためのネット社会の歩き方セミナー」の実施

セミナーを各地で開催していただくにあたっては、基本的に開催地から提案していただくことにしたが、いくつかのパターンも提示して、話し合いながらセミナー形態を決めた。

セミナーは単なる講演に終わるのではなく、親子が話あえる形態や、ワークショップなどの形態を検討した。



PC教室でのワークショップ風景



講堂での講演会風景

2. 予想される事業実施効果

家庭や友達の家、通学路などの学校外での使用が圧倒的に多くなっている。このような学校外でのICT利用を適切なものとするためには、学校で情報モラル教育を行うだけでなく、保護者や地域住民の方々にも「情報モラル」について理解していただき、家庭での約束づくりや地域における「見守る目」づくりなどを行っていただくことが必要である。そのような家庭や地域での「情報モラル教育」の推進を目指したのが、本「親子のためのネット社会の歩き方セミナー」である。

本事業による「親子のためのネット社会の歩き方セミナー」の実施により、保護者が子どもたちの置かれている状況を理解し、家庭においても子どもたちを見守り、対話しながら、情報モラル教育を行っていく必要性を認識していただくことができた。また、保護者の具体的な対応のあり方についても、本セミナーで理解していただくことができた。

また、本セミナーをきっかけに、実施校の周辺地域等で、親子を対象とした情報モラルセミナーが開催されるようになり、家庭における情報モラル教育の普及に寄与することができた。教師が育つ視点を持った対応にも軸足を移していけばより大きな効果が期待できる。

3. 本事業により作成した印刷物等

(1)「親子のためのネット社会の歩き方セミナー」教材改訂版

- ①児童生徒用 (http://www.cec.or.jp/jka/091014_kaitei_kids.pdf)
- ②保護者用 (http://www.cec.or.jp/jka/091014_kaitei_parents.pdf)

(2) Web対応リーフレット

- ①カラー版 (http://www.cec.or.jp/jka/Leaflet4c_link.pdf)
- ②白黒版 (http://www.cec.or.jp/jka/Leaflet1c_link.pdf)

(2) 平成21年度財団法人JKA補助事業「親子のためのネット社会の歩き方
セミナー実施報告書」

- ①Web公開 : (<http://www.cec.or.jp/jka/h21/H21oyakohoukoku.pdf>)

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 財団法人コンピュータ教育開発センター (コンピュータ教育開発センター)

住所： 〒108-0072

東京都港区白金1丁目27番6号

代表者： 理事長 赤堀 侃司 (アカリ かんじ)

担当部署： ネットワーク利用促進部 (ネットワーク利用促進部)

担当者名： 主任研究員 小関 佳彦 (コセキ よしこ)

電話番号： 03-5423-5914

FAX： 03-5423-5916

E-mail： cecinfo@cec.or.jp

URL： <http://www.cec.or.jp/CEC/>